

第23回

火災報知器の設置は お済みでしょうか！

平成16年6月に消防法が改正され、火災報知器の設置が義務化となりました。住宅火災での逃げ遅れによる死者の低減などが目的です。

新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅については平成23年5月31日までに住宅用火災報知器を設置しなければなりません。

◆火災報知器の奏功事例

①就寝前にタバコを吸い、確実に消火せずに就寝してしまい、落ちたタバコが座布団に延焼したが、住宅用火災報知器の警報音により火災に気づき、枕元に置いてあったヤカンの水で消火した。
②二階寝室で就寝していた男性(30歳代)は、一階の祖母の部屋の火災報知器の警報音に気づき、部屋を出ると煙が

漂っており、さらに一階へ降りると仏壇から炎が上がっているのを発見した。男性は、台所にあったバケツと炊飯器の鍋で水をかけ消火した。

③女性(80歳代)は、一階台所で天ぷら油をガスにかけたまま、居間で用事をしていたところ、時間の経過とともに加熱された天ぷら油から出火した。台所に設置の火災報知器が天ぷら油からの煙を感知して作動、女性が警報音に気づき居間にあった座布団を天ぷら鍋に被せ消火した。

この様に、火災報知器の奏功が報告されています。警報器の設置がまだの住宅は、火災報知器の設置をお願いいたします。また、設置に関する事で分からないことがありましたら、養父市消防本部へお問い合わせ下さい。

不適正な訪問販売にあわないために！

「消防署の方から来ました」

「火災報知器を取り付けないと罰金がきます」「これが、指定の商品です」などと、訪問販売がやってくるかもしれません。
●消防署職員や市職員が販売することはありません。
●法律で設置が義務付けされていますが、未設置でも罰金はありません。

●商品価格が安くても、法外な取り付け費用を請求される場合があります。

●悪質な業者の口車に乗せられて契約せずに、家族や信頼できる知人に相談しましょう。もし、訪問販売などで契約してしまった場合は、契約を解除できる事がありますので消費者センターにすぐ相談しましょう。

お問い合わせ先

養父市消費者生活センター
(☎662-3170)

まちの文化財 ⑦

知られざる国指定文化財 「口大屋の大アベマキ」



国指定文化財の「口大屋の大アベマキ」

巨樹巨木という言葉があります。巨木の目安は幹廻り3m、直径約1m以上の樹木です。巨樹巨木と呼べる国指定の天然記念物が兵庫県内に8本あります。養父市には国指定の3本の巨木があります。口大屋の大アベマキ、樽見の大ザクラ、建屋のヒタリマキガヤです。いずれも兵庫県を代表する巨木です。

口大屋の大アベマキは、幹廻りは5・6m、樹高は約16m、樹齢は約400年、大屋町中字法仙地にあります。上山高原から山道を徒歩350mくだった場所、樽見の大桜からみて南西の山側約700mの位置にあ

ります。枝張りがよく風格もあります。

大屋地域の山々では、7月から9月にカシ、コナラ、クヌギなどが多く枯れました。これは全長5mほどのカシノナガキクイムシが樹木に穴を開けて卵を産み、ムシの幼虫の餌となる菌糸を樹木で繁殖させるからです。その菌糸が樹木の中で水を運ぶ組織を破壊して樹木が枯れます。そして枯れた樹木に産卵し、残った卵が、翌年の夏に成虫となって再び大量発生します。

口大屋の大アベマキでは、約40カ所にムシが穴を開けて産卵していました。木の表面は黒く変色し、地面にはオガクズが溜って枯れる直前の状態でした。そこで兵庫県樹木医学会の樹木医、宮田和男氏と鳥越茂氏に調査を依頼しました。防止対策は、第1に樹木の表面にビニールを巻いて虫の産卵を防ぐ。第2に樹木の中にある菌糸を殺菌剤を注入して殺菌する。第3に樹木の中にある卵や幼虫を殺虫剤で駆除することです。樹木医による緊急治療で大アベマキを救出しました。

何百年も生きてきた巨樹巨木が自然の状態では枯死するという異常な環境変化が起きています。

(教育委員会社会教育課)

「健康」 ワンポイント アドバイス



保健師
谷垣知美

運動のすすめ ～靴選びのポイント～

皆さんは、普段どのような靴を履いていますか？仕事に行く時は革靴やパンプス、家の周辺ではサンダル、田畑に行く時は長靴。それぞれ目的によって、靴も変えていると思います。では、運動をする時には、どのような靴を履くと良いのでしょうか？今回は『運動に適した靴選び』について紹介します。

【自分に合った靴選びのポイント】

- ①痛みがない
靴の中で、つま先や親指・小指の付け根、かかとの部分・甲の部分が圧迫されないものが良いです。靴ひもがついているものならば、ひもできつさを調整します。痛みがなくても足の疲れやすい靴は、サイズが合っていない場合があるので、長さや横幅が合っているか確認しましょう。
- ②靴の中で足の指が動かせ
足の指を曲げたり、しっかりと

り伸ばすことができるものが良いです。足の指が使いやすくと、けりだしがしやすく安定して足を前に出すことができます。

③靴の中で足がずれない

①にもでてきたように、サイズが合っていれば靴の中で足が前や後ろにずれることがなく、疲れにくくなります。つま先を上から押さえて、指1本分ほどへこむくらい靴の先に隙間があることが目安です。

自分の足に合った靴選びは、怪我の予防や運動の継続にも影響します。良い靴を選んでしっかりと体を動かしましょう。

【お問い合わせ先】

市役所健康課

(☎662-13167)



こんにちは、地域包括支援センターです



地域での連携について

ヘルパー派遣などのサービスの利用や、介護保険外の配食サービスや移送サービスなどの利用について相談します。

また、虐待防止や権利擁護などの問題についても、社会福祉協議会や関係事業所、市役所内の部署との連携を図り一緒に考えています。

【ケアマネジャーとの連携】

市内のケアマネジャーとの勉強会や、地域局単位で会議を開き各地域での課題などを共有しています。さらに悪質な訪問販売や振り込め詐欺など、但馬管内での情報があれば、注意を促すように発信しています。

【地域との連携】

区長さんや、民生委員さん等、住民の方々の声を聞かせてもらいながら、保健・医療・福祉・地域が一つになって、連携すること、住み良い暮らしになればと思います。どの世代の方々も安心して生活でき、養父市に住み続けたいと思えるような地域づくりをめざしていきます。

【お問い合わせ先】

市役所介護保険課

地域包括支援センター

(☎662-17603)

地域包括支援センターは、さまざまな機関と連携し、高齢者やその家族の支援を行っています。

【医療機関との連携】

病院を退院するとき、本人や家族、病院担当者で相談します。また、退院前には状況に応じて病院のリハビリ担当者や自宅を訪問し、手すりの設置など住環境の整備を行ったり、必要なサービスを調整しています。

【サービス事業者との連携】

介護保険でのデイサービスや